

生きがい

区分	年度末目標値	実績値(12月末)		前年12月末	
		男性	女性	男性	女性
会員数(人)	1,180	779	281	784	283
契約金額(千円)	480,000	365,821		370,482	

新年のご挨拶



理事長
今橋 徹也

明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、ご家族ともども健康やかに新春を迎えられたことと、心からお喜び申し上げます。

また、旧年中は日立市シルバー人材センターの運営、各種活動におきまして、ご理解とご協力を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、三十年続いた平成が令和となり、また、日立市の市制施行八十年、いきいき茨城ゆめ国体の開催、天皇家の行幸など、記憶に残る出来事があった年でした。

今年、東京オリンピックの話で持ち切りになると思いますが、当センターとしては、設立四十周年という大きな記念の年を迎えます。

時代を先取りし、県内で最初に設立されたセンターという歴史を祝うとともに、今後、さらに増えていく高齢者の「いきがい」を作り出していくため、これまで



カット 篠木 進氏

以上に、活力のある、日立市にとって必要な組織になっていきたいと思っております。

今年、ネズミ年。十二支のスタート、新しい物事が始まる年、兆しの年、そして「ネズミの子だくさん」から「繁栄の年」とも言われております。

この一年が、当センターにとりまして「繁栄の年」となることを期待するとともに、会員の皆様のご多幸とご健勝を心からお祈りいたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



目次

- 表紙 理事長挨拶 1
- 市長挨拶 2
- 市長と市議会議長に支援要望書を提出 3
- 県内一斉にシルバー事業PR活動 3
- 年男・年女 今年の抱負 4
- 地域班活動の紹介 5
- シリーズ
- 「しるば一番闘記・まちが活躍の舞台です」... 6~7
- いま熱中しています 8

公益社団法人 日立市シルバー人材センター

〒317-0076 茨城県日立市会瀬町4丁目9番13号(福祉プラザ内)
TEL 0294-34-6018 FAX 0294-36-4510

メール hitachi@sjc.ne.jp

日立市シルバー

検索

新年のご挨拶



日立市長

小川 春樹

明けましておめでとございます。

皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

平素より、市政へのご支援、ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

昨年、日立市では、市制施行八十周年という大きな節目を迎えることができました。

また、四十五年ぶりの茨城国体の開催は、天皇、皇后両陛下のご来訪もあり、日立市として、新たな歴史の一ページとなる出来事でありました。

さらには、映画「ある町の高い煙突」の全国公開や、ひたちBRTの常陸多賀駅と大甕駅間の本格運行を開始するとともに、鳩が丘さくら福祉センターやHi-Tacツチらんどハレニコの供用を開始するなど、着実に事業を進めることができました。

そして、高齢福祉の施策といたしましては、介護予防・閉じこもり防止のために、外出のきっかけとなるよう、バスやタクシーの料金を助成する「高齢者おでかけ支援事業」の拡充や、いつでも・誰でもご利用いただき、交

流できる、「元気カフェ」の整備を推進しているところです。

今年一月末には、市内三カ所目の元気カフェが、久慈町の老人福祉センター吹上荘の中に「元気カフェくじはま」として、オープンいたします。

また、昭和五十年に建設した、特別養護老人ホーム萬春園の再整備事業も、基本設計段階に入り、事業の進捗も順調でございます。

日立市シルバー人材センターにおかれましては、今年の十月に設立四十周年を迎えられる記念すべき年であります。

設立以来、多年にわたり高齢者の就業機会の確保や働くことで得られる「生きがい」の充実など、地域社会への多大なるご貢献を賜り、深く感謝申し上げます。

市としましても、センターのより一層のご発展のため活動基盤強化の支援をしてまいり所存でございます。

結びに、本年が皆様にとりまして、健康で幸多き一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。



令和二年

安全祈願祭を開催

令和二年一月十五日(水)に、鶴の岬カントリークラブにおいて、安全祈願祭を執り行いました。

神前に玉串を奉てんし、今年一年の会員の安全を祈願しました。



全員で、今年一年の安全を祈願

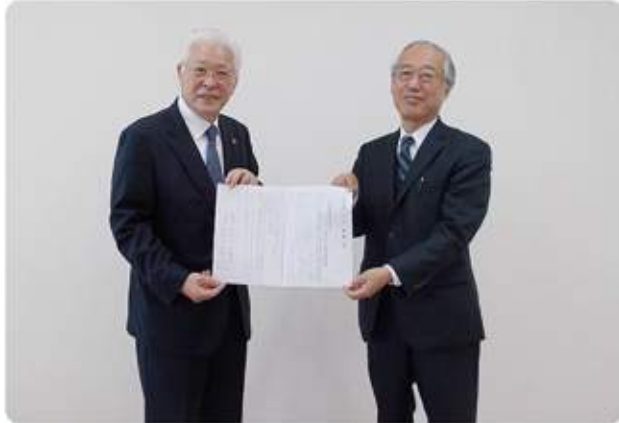
市長と市議会議長に 支援の要望書を提出

令和元年十一月八日に理事長ほか役員が、小川市長と茅根市議会議長に面会して、シルバー人材センターの取り組みを説明するとともに、支援拡充の要望書を提出しました。

少子高齢化が進み、人口が減少する中で、政府の「経済政策の方向性に関する中間整理」において、「生涯現役社会」の実現に向け、地域に密着した就業機会を提供し、意欲のある高齢者の就業促進のため、求人先とのマッチング強化を図るなど、シルバー人材センター事業の発展拡充が、これまで以上に大きな位置づけをされています。

こうした中、全国のシルバー人材センターは、平成三十年から進めている「第二次百万人達成計画」の達成に向け、「自主・自立・共働・共助」という理念のもと、国および地方自治体のニーズに対応して次の事業を進めています。

- ①介護予防・日常生活支援総合事業などの要支援高齢者に対する事業
- ②放課後児童クラブの担い手などの子育て中の現役



小川市長・茅根議長に要望書を提出する今橋理事長

- ③世代や子供たちへの支援
- ④人手不足の地元企業に向けたシルバー派遣等の事業
- ⑤空き家管理、遊休地を活用した農園事業などの事業

このような事業を重点とする全国での動きを受けながら、日立市シルバー人材センターは、日立市の特性に合った事業展開を図っており、地域社会の維持・発展および、就業意欲の高い高齢者の受け皿といった重要な役割を担っていることなどを説明し、今後の事業推進のために、センターに対する補助の拡充などを要望いたしました。

昨年十月一日午前九時三十分からJR日立駅前、常陸多賀駅前でシルバー人材センターを、広く知っていただくためチラシおよびウエットティッシュなどを配布し広報活動を行いました。

県内一斉に シルバー事業PR活動



日立駅前



常陸多賀駅前



今年の抱負

今年の千支「子」年生まれの会員は八十四歳の方が十二人おられます。新年にあたり七人の方から抱負や目標のご寄稿をいただきました。



本庁二班
池田 林 治

平成九年入会して気が付けば「年男」。これも良き仲間と過ごすことができたおかげと感謝でいっぱいです。今後も仕事、ゴルフ、カラオケを楽しめるよう、健康に気を付けて過ごしたいと思います。



本庁二班
柴田 春 信

四季の初めに、皆様とともに迎える令和二年。本年度は二度目のオリンピックが開催される年でもあり、努力をしたぶんだけ報われるとの言葉が身もってわかるような気がします。



本庁四班
小室 金 吾

明けましておめでとうございます。昨年は天災により被害を受けた方も多く傷心深い一年となりました。今年はずいぶん、仲間たちと健康づくりに励みたいと思います。



本庁四班
高村 直 人

わが国内で世界が大きく動く年ですね。私もシルバー業務を楽しく卒業し、現在、孤立無援にならないようグラウンドゴルフに参加しております。



中部一班
中島 民 雄

二十年余り除草班で働いていました。今は他の班で活動しています。継続は力なりといえます。できるかぎり身体を動かしてがんばりましょう。



中部五班
鈴木 隆

昨年の世相を表す漢字の三位に「和」が入りました。私はこの「和」を大切にしてきました。シルバーの仕事や趣味の仲間と今まで通り残り少ない人生を「和」で有意義に過ごしたいと思っています。



中部五班
鈴木 堅 治

年々身体の衰えを感じるこのごろです。センターに入会して二十二年、植木のせん定をしております。各家庭を回り喜ばれる仕事を目標に、そして皆様に支えられ大過なく今日までできました。今年も安全に気をつけて健康で働けることです。

地域班活動の紹介

センターの地域班は市内を北部、本庁、中部、南部の四エリアに分け、十三班が会員との相互連絡、それぞれ地域に密着した活動を展開しています。「えっ、自分ほどの班に所属しているの」。会員の皆さんの中には、意外に所属班を知らない方がいます。そこで、会員の皆さんの住所と所属班が照合できるように、その都度班を構成する町名を明記することにしました。それぞれの班主催のイベントに参加し、顔合わせができれば、会員との横の連絡が取れるようになり、いろいろな情報も気軽にやりとりできるようになる、何かと便利な組織です。皆さんの参加をお待ちしています。今回は北部一班、本庁一班、南部一班からの活動報告です。

北部一班

十王町全域、川尻町、砂沢町、折笠町、小木津町

班長 小野寺 攻

令和元年の北部一班全体会の活動は、七月に伊師浜海水浴場の清掃奉仕活動、九月に十王スポーツ広場でのグラウンドゴルフ大会、そして十二月にグラウンドゴルフと忘年会を

兼ねた懇親会を横川温泉中野屋で行いました。グラウンドゴルフのコースは大・小の石がところどころにあり難易度が高いと感じましたが、楽しかったと好評でした。終了後、温泉で温まり、懇親会ではカラオケで盛り上がりました。参加した皆さんのコミュニケーションを深めることができましたと感じています。



北部1班懇親会の様子

本庁一班

かみあい町、東滑川町、滑川本町

班長 門 脇 隆 男

本庁一班は会員総勢五十人程度で構成されています。

昨年の活動は親睦を主目的とし、十一月にユーパル矢祭にてグラウンドゴルフと懇親会を開催しました。初めのうちは静かに飲んでいましたが、お酒の量に比例し、カラオケを歌う方も増え、青春時代に戻ったかのような楽しいひと時を過ごし親睦を深めることができました。

まだ参加したことのない方は次回の全体会にはぜひ参加してみてください。

南部一班

水木町、大みか町、石名坂町、南高野町

班長 綿 引 正 男

昨年十月十六日土曜日、天気は朝から快晴に恵まれ、迎えのバスに乗り、途中紅葉も少しづつ色づき始めた山々を眺めながら一路、横川温泉中野屋へ。早速グラウンドゴルフをスタート。開始早々悲鳴や笑い声と珍プレー続出。和やかに競技を楽しみ、秋の青空の下で心身ともにリフレッシュしました。宿に戻り、当日は時間的に余裕があったので冷えた体をゆっくりと温泉で温め、待望の宴会に。地元の鍋料理に舌鼓、アルコールが入るにつれ、カラオケも始まり、秋の一日を有意義に満喫し帰路へ。今回は台風十九号の被害の後片付けの手伝い、腰痛膝痛など三、四人の欠席者が出ましたが、次回には一人でも多くの参加を募り親睦を図っていかうと考えています。

シリーズ

「しるばー

奮闘記

・まちが

活

躍の舞台です」

当センターは自治体、企業、一般家庭などから依頼される仕事をはじめ、独自に立ち上げた事業や、人手不足分野を中心とした派遣業務など、仕事の種類は多岐にわたる。これまでの豊富な人生経験をフルに生かし、仕事に励む会員たちの活躍ぶりをシリーズで紹介する。(シリーズ二回目)

職人の仕事集団「植木班」

センターの数ある仕事の中で、伝統ある仕事として挙げられるなら、やはり植木班だ。常に腕前に磨きをかけることが求められる職人の仕事領域でもある。



その植木班にとって毎年十月、十一月は最後の追い込みをかけ、フル稼働の時期だ。

昨年十月十六日午前七時前、田尻町七丁目の市老人福祉センターはまぎく荘の駐車場に入ってきたワゴン車など四台から、地下足袋姿の男七人が降り立った。

登録者四十五人がそれぞれの担当エリアをもつ七班に分かれて所属する中で、最も多くの作業員が所属する益子隆さん(七五)を班長とする第三班だ。三脚など作業用具を運び込み、施設側へのあいさつを済ませると、定刻通り仕事に。作業は午後三時まで。

ダイケアセンターとして長い歴史を刻む施

設の周囲には種々の樹々が植栽されている。傾斜地で作業を進めるグループは三脚の足下を固定、庭木と三脚を安全用ロープで結び、必要に応じて安全ベルトで体を支えながら、作業を進める。それぞれの腰には木ばさみ、せん定ばさみなどの七つ道具。刈込用のヘッジトリマーを使う作業員は周囲を見ながら、真剣な表情で仕事を進めた。

これらの道具はすべて作業員が自前でそろえたものだ。植木班で仕事をする初期投資は三万円前後となることもある。「貸与道具だと、いつも同じ道具が使えるわけではない。自前の道具なら大切に使うし、研ぎもかける」と仲間の気持ちを代弁したのは一番若手の高橋正憲さん(六五)。

仲間のせん定ばさみより、刃の部分が半分も短いせん定ばさみを使っていたのは鶴見定一さん(八七)。「研ぎながら使い込んだら、刃の部分がここまで短くなっちゃったよ」と笑いながら見せてくれた。植木班二十五年目の大ベテランだ。現在七人いる班長全員が鶴見さんの指導、薫陶を受けたという。

植木班には技能検定試験がある。これに合格して初めて一人前扱いとなり、時給も見習い期間中の八五〇円(消費税込み)から一〇五〇円(同)に昇給する。

検定試験を受ける資格は、所属する班長の推薦が必要となる。次も仕事を頼むかどうか

「依頼主の評価を受ける職人の世界には、ほかの仕事にはない関門がある。植木班十四年目の益子班長は「六十二歳のとき所属したのですが、若かったので新しい仕事を覚えるのに何の苦も感じなかった。でも最近では若い人が入って来ない。六十代は全体の二割足らず。後継者育成、これが最大の課題なんです」と実情をこう説明した。



手入れする庭木と三脚とをロープで固定し、安全確保してから作業に着手する作業員



後片付けも全員で

四季にふれる「かみね動物園清掃業務」

市民の憩いの場であるかみね動物園は、こども連れ家族や幼稚園児の遠足などで毎年三十五万人以上が訪れる人気スポットだ。



昨年十二月半ばの日曜日午前八時三十分(開園三十分前)、山崎光子さん(七三)は動物園入口「ふれあいプラザ」の掃除を始めた。熊坂政孝さん(六八)、山田健一さん(七三)、藤田浪巳子さん(七八)の三人は、開園六十周年を記念して一昨年にオープンした「はちゅうるい館」の清掃を開始。熊坂さんと山田さんは、一階、二階各展示室のガラス拭きを手際よく終わらせ、園内清掃へ向かった。藤田さんは、床掃除後も入館時間(九時三十分)ぎりぎりまで最終仕上げのために一人残った。

外は肌寒いが風もなくさわやかな朝だ。動物園入口前には、すでに数組の家族が開園を待っていた。子どもたちはうれしさを抑えきれず元気にはしゃぎまわっている。二人が園内清掃を開始するとすぐ一頭の象がうるさく動き始めた。「今日のミネコは機嫌が悪いな」熊坂さんが呟いた。そして暗黙のルールがあるかのように、二人はあうんの呼吸で離れたり近づいたりしながら、いつものコースを竹ぼうきできれいにしていく。

掃く、掃く、掃く。一時間もしないうちに二人ともジャンパーを脱いだ。掃く、



枯れ葉を箕(み)の中に掃き入れる山田さん(腰にやさしい着脱可能な把手を仲間が作製)

掃く、掃く。園内は広い。掃く、掃く、掃く。来園者の見学の邪魔にならないように。さんかく広場に来ると、山田さんが大きな竹熊手を使い小さな動物の寝床などに使う枯れ葉を集め始めた。すでに園内トイレの清掃を済ませた藤田さんは、木のテーブルとベンチを雑巾で拭いている。

休憩時間になった。三人はいろいろ話をしてくれた。夏場のむし暑い日や悪天候の時の作業は大変だが、春は桜、秋は紅葉がとてきれいな。小さな子供から「きれいにしてくれてありがとう!」と言われるとうれしくなる。迷子で泣いていた幼児をおんぶしたら泣き止み、事務所まで連れて行ったことは忘れられない。困惑した男性から「昼食の後に車のカギを誤ってビニール袋に入れゴミ箱に捨ててしまった」と言われ、収集したごみの山の中からカギを探すのにてんやわんやになったことなどなど。



次の場所へ清掃用具を載せて二輪車を押す熊坂さん(チンパンジーの森の前)

休憩時間が終わった。三人は腰をあげ、竹ぼうきを手にとった。園内清掃は、四季とのふれあい、動物とのふれあい、来園者とのふれあいがある職場だった。かみね動物園は大みそかと元日以外毎日開園。登録会員は男性七人、女性四人で一日四人が従事。各人月十日程度の勤務で、就業時間は午前八時三十分から、季節や曜日により午後四時三十分まで(実働七時間)または午後三時三十分まで(同六時間)。

いま熱中しています!

山登りと

温泉と健康維持

中部一班 大石 行雄



山登りを始めたきっかけは、友人の誘いからです。県北生涯学習センターの山歩きの講座を受講終了後、自主グループを発足させて「県北山歩きの会」を会員二十四人で立ち上げ、私が会長を引き受けました。五年後別の会長に譲り、現在三代目で十一年になります。

毎月一回例会は山歩き、七月は一泊登山と十月はバスで日帰り登山です。そのほか個人で山登りを楽しんでいます。冬場は里山歩き、史跡めぐりなどで三月は青春十八キップで東京近郊の山登りの後、上野公園で



北岳山頂にて記念撮影

桜のお花見をしてお酒を酌み交わしてきます。次に日本第二位に高い北岳に登ったときのお話をして終わります。午前三時、バスで勝田出発。中部横断自動車道経て北岳登山口の広河原より入山して、その日は白根御池小屋に泊りました。翌六時、山頂まで急こう配をジグザク風の強いなかを山頂に立ち感無量でした。北岳肩ノ小屋に泊り、翌日一気に、下山して五時間でバスの駐車場に戻り温泉で汗を流して帰途につき、山旅が終わりました。

編集後記

昨年、新天皇が誕生し令和となった。全英オープンゴルフで四十年ぶりに渋野選手が優勝。ノーベル化学賞を吉野さんが受賞。また、ラクビーワールドカップや茨城国体が開催されるなど盛り上がった。一方で、台風十五号や十九号など自然災害があった。十九号では、県内が大きな被害を受けた。令和二年目の今年には災害のない穏やかな一年になるよう祈るばかりです。会員の皆様は、今年一年いかがでしょうか。

(広報委員 梶山)

原稿募集

★表紙用の写真やイラスト等

次号に使用します

★いま熱中しています

現在熱中していること、得意なことなどについて、四〇〇字程度にまとめ、写真を一枚添付して下さい。

★シルバー川柳

生きがい、やりがい、楽しさ、失敗なんでもOKです。五七五で表現してください。
●応募方法、問い合わせはがき、メール、FAX等
事務局(吉井)まで



入会希望者説明会日時

令和2年

- ・2月20日(木) ・5月21日(木)
- ・3月19日(木) ・6月18日(木)
- ・4月16日(木) ・7月16日(木)

時間 9時30分から正午まで

会場 福祉プラザ

会員募集中!

「地域に元気、自分もいきいき
シルバー人材センターで
一緒に活躍しましょう!!!」

入会案内や申込書は、
シルバー人材センター、高齢福祉課、
各支所、交流センターなどにあります。

入会お待ちしております
おきます!

